



<同時発表>
・国土交通省

<問い合わせ先>
開発建設部 景観環境事業調整官 安里
建設行政課長補佐 平川
直通：098-866-1908

沖縄総合事務局
平成23年1月12日

平成22年度「手づくり郷土賞」に沖縄から1件選定！！

今般、全国各地からの応募の中から優れた取組が「手づくり郷土賞」として選定され、**沖縄から1件選定**されましたのでお知らせいたします。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、今年度で25回目となる**国土交通大臣表彰**です。

社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を表彰し、好事例として広く全国に紹介することで、個性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が進むことを目的としています。

■平成22年度「手づくり郷土賞」選定結果

	選定数	うち沖縄
一般部門	22選	1選
大賞部門	3選	0選

■選定された沖縄の取組

案件名	備瀬のフクギ並木
団体名	本部町備瀬区／沖縄県本部町

なお、**2月1日には認定証伝達式**（詳細は別紙資料参照）を行い、選定された団体に対し**沖縄総合事務局次長（開発建設担当）**より認定証を伝達する予定ですので、併せてお知らせいたします。（当日は報道機関公開となります）

また、選定された好事例は、ホームページ等を通じて広く全国に紹介する予定です。

一参考一 国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページ及び国土交通省記者発表
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/te dukuri/index.html>
http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000024.html

平成22年度 手づくり郷土賞

目的

全国各地において、その地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な資源として再認識し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりの成功例が多く見受けられます。

このような地域の魅力や個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘・評価し、「手づくり郷土賞」として表彰することにより、好事例を広く全国に紹介し、個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が進むことを目指しています。

部門

手づくり郷土賞(一般部門)

手づくり郷土賞(大賞部門)

募集対象

地域の魅力を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果

選定のポイント

手づくり郷土賞の選考は、以下の視点に着目して行われます。

①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫

(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての育成・活用等)

②地域活動における創意・工夫、取組の独創性

(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)

③地域づくりへの成果及び波及効果

(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)

④今後の活動の継続性・発展性

(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)

⑤他の参考となるような先進性・先導性

⑥その他(上記以外の特に優れた内容)

①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫

(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての育成・活用等)

②地域活動における創意・工夫、取組の独創性

(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)

③地域づくりへの成果及び波及効果

(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)

④今後の活動の継続性・発展性

(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)

⑤他の参考となるような先進性・先導性

⑥その他(上記以外の特に優れた内容)

⑦社会資本の地域への定着状況

(地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に活用等)

⑧活動の継続状況

(規模を広げながら着実に継続している等)

⑨活動の発展状況

(新たな取組を創出している、他地域へ波及している等)

応募団体

社会資本を管理する地方公共団体(都道府県、市区町村)、又は社会資本を有効活用し地域づくり等に取組む活動団体が、単体もしくは共同で応募することができます。

選定委員会

委員長： 西村 幸夫 東京大学先端科学技術研究センター 教授
 大村 哲夫 (財)港湾空間高度化環境研究センター 理事長
 金安 岩男 慶應義塾大学環境情報学部 教授
 田村 美幸 公共の色彩を考える会 名誉会長
 藤吉 洋一郎 大妻女子大学文学部 教授
 藤原 まり子 博報堂生活総合研究所 客員研究員
 北村 隆志 国土交通省総合政策局長

※ 詳細については、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページをご覧ください。
 (<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tebukuri/index.html>)

案件名： 備瀬^{びせ}のフクギ並木

団体名： 本部町備瀬区／沖縄県本部町

概要： 備瀬のフクギ並木は、今から250年以上前に屋敷の防風林として整備されたのが起源とされ、戦争による焼失等を間逃れ今や沖縄県内においても伝統的風景として貴重な景観資源となっています。

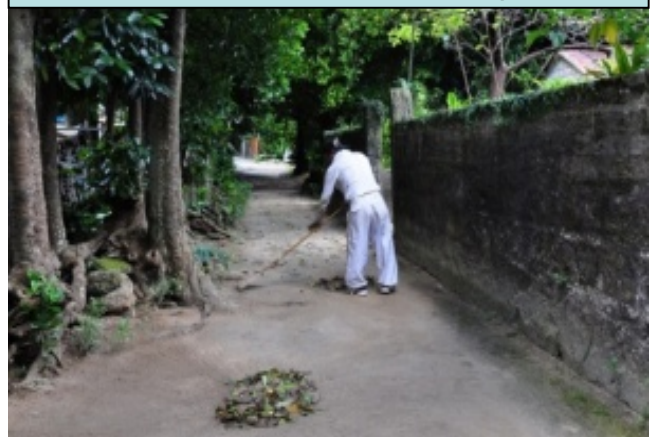
備瀬区住民の人々は、先祖代々受け継がれてきた地域の財産であるフクギ並木を、日常的に維持・管理し続けています。

その結果、防風林という防災機能を保持しつつ、伝統的景観が保全され、最近では沖縄の美しい風景を求めこの地を訪れる来訪者が増加しています。又沖縄の観光地として有名な海洋博公園、世界遺産の今帰仁城跡等が近辺に点在しており、備瀬のフクギ並木を一体とした観光ルートとして定着してきています。

備瀬フクギ並木通り



備瀬区民による日常的な清掃



備瀬区民が製作した「備瀬集落案内マップ」



備瀬の「水牛車」



案件名： ^{びせ}備瀬のフクギ並木

日時： 平成23年2月1日(火) 15:00～(15分程度)

場所： 備瀬区事務所(備瀬公民館)
本部町備瀬457

出席者： 本部町備瀬区長
(予定)

本部町長

沖縄総合事務局次長(開発建設担当)